

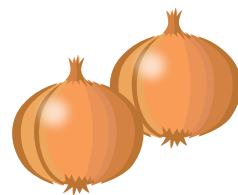
家庭菜園相談室

Q

タマネギを毎年栽培していますが、必ずトウ立ちしてしまいます。どうすれば良いですか？

A

タマネギのトウ立ちする原因は、**定植時の苗の大きさなどが影響しています。**



トウ立ちする原因として、①適期より早く播種・定植した②茎の太すぎる苗を植えた③追肥の時期（品種による）が早すぎた。また、施肥量が多すぎたなどがあります。

2月の立春より前に太くて大きな苗にするとトウ立ちになることが多くあります。

表1は、同じように栽培しても、苗の時点での茎の太さが、収穫時のタマネギの大きさと、トウ立ち率に影響することを示したものです。茎の太さが5^{ミリ}を超えるとトウ立ちになる率は急激に増加しますが、収穫した重量は200^{グラム}とほとんど変わりません。

また、トウ立ち後、すぐに抜き取れば球は小さい物も食べられます。時間が経つと芯ができて硬くなり食用には向かなくなります。

表1 タマネギ苗の茎の太さとトウ立ちの関係 (大阪農試の試験)

苗の茎の太さ(ミリ)	収穫したタマネギの重量(グラム)	トウ立ち率(%)
3.0	115	0.0
4.5	155	0.2
6.0	198	5.3
7.5	201	8.2
9.0	209	21.6

Q

コカブを栽培しています。真っ白なカブにならないのはどうしてですか？

A

肥料切れや害虫の影響です。



コカブの栽培では、部分的に褐色してしまったり、エクボのようなへこみができてしまったりすることがあります。褐色のような汚れが付くときは、収穫日が遅れていることや、途中で肥料が切れたことなどが影響したと思われます。コカブは収穫時に直径が4~5^{センチ}で、播種後45~50日で収穫するのが一般的です。この間に2回の間引きと追肥を行います。1回目は本葉3枚、2回目は本葉5枚の時が目安です。

エクボができるのは、キスジノミハムシなどの幼虫がかじった痕だと思われます。カブやダイコンなど根菜類のキスジノミハムシやネキリムシ類の防除には、寒冷紗などでトンネル被覆し、害虫の侵入を防止しましょう。また、播種時・生育期にダイアジノン粒剤5を使用するのも効果的です。

表2 ダイアジノン粒剤5の使用法(一部抜粋)

R2.11.4現在

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	使用回数	使用方法	ダイアジノンを含む農薬の総使用回数
ダイコン	キスジノミハムシ	6 ^{グラム} /10 ^{平方メートル}	播種時及び生育期 但し収穫21日前まで	2回以内	播種時：作条土壌混和 作物生育中：株元土壌混和	2回以内 (生育期は1回以内)
	ネキリムシ類	4~6 ^{グラム} /10 ^{平方メートル}	播種時	1回	全面土壌混和 又は作条土壌混和	
		6 ^{グラム} /10 ^{平方メートル}	生育期 但し収穫21日前まで	1回	土壌表面散布	
カブ	キスジノミハムシ	6 ^{グラム} /10 ^{平方メートル}	収穫45日前まで	2回以内	播種時：作条散布 作物生育中：株元散布	2回以内 (生育期は1回以内)
	ネキリムシ類	6 ^{グラム} /10 ^{平方メートル}	出芽時	1回	土壌表面散布	

※農薬の散布時には、農薬のラベルを必ず確認してください。